

俺の現場!

# 腹帯橋床版工事

皆さんの現場でのこだわりや、プライドを持って働く姿を紹介するこのコーナー。  
今号では、K.I さんについて伺いました!

強面だけど  
面倒見が良い  
けんちゃん!

工場長  
K.Iさん

## 腹帯橋床版工事

**工期** 2020年5月～2020年12月

**場所** 岩手県宮古市腹帯

**人数** 約12～13名(常駐4～5名)

「強面だけど面倒見が良いけんちゃん」だと聞いていますが、ご自身のどんなところがそう呼ばれる理由だと思いますか?

コミュニケーションを積極的に取っているからだと思います。一緒に働いている仲間だから、仲良くしていきたいと思い、仕事の話だけではなく、雑談も交えながら会話するようにしています。また若い子が来たときは、仕事に関して、面倒を見るべきであると考えていて、自分から話しかけたり、教えたりしています。

## 危険と隣り合わせの高所作業

今回の工事は、他の作業場所と違い、30メートルほどの高さで、足場に不安のある中で行う作業です。金物関係などの重量があるものも、クレーン車ではなく、人の手によって2人がかりで行うため、大変でした。また、足場には隙間もあり、物を落とさないように注意しながら作業することを心がけています。



## 最高のものを造りたい

毎回の作業では、できあがりが良いものになるように、考えて行動しています。まだ、100% 満足のものはいくつもできていないので、日々努力をし、試行錯誤しながら作業をしています。同じものを造っていても現場によって正解は異なるため応用はとても難しく、「どうしたら上手くいくか」ということは常に課題です。

## 健二さんのこだわり

やはり良いものを造りたいという想が一番です。仕上がりがもっと良くなるように、想像を膨らませ、先々に必要となるであろうことに前もって取組み、常により良いものを追求し続けていきたいと思っています!

## 強風対策での苦勞

工事を行った時期は風が強く、飛ばされないようにすることが大変でした。6月頃が特に強く、人が立ってられないほどです。そのため、風で物や人が飛ばされそうになり、飛んでしまわないようにパイプをはったり、重いものを下げておいたり対策をしました。しかし、こまめに補強しながら作業を行わなければならない、作業スピードが天候によって左右されてしまうこともありました。



今回は、真面目でハキハキとした S さん!

H.S さんの現場「盛岡駅西通マンション」の様子をお届けします! お楽しみに!

# TK plus

vol.3

2020年12月25日発行